



大町市キャラクター
おおまびよん

／お互いさまのまちづくり

第166号
平成25年10月1日

社協 おおまち

水揚げ順調!!



大船渡漁港

今年の「市民ふれあい広場」は 復興支援!“大船渡さんまつり”

詳しくは5ページをご覧ください

主な
内容は

- ◆特集!一人暮らし高齢者…………… 2～3ページ
- ◆あなたにインタビュー…………… 4ページ
- ◆市民ふれあい広場…………… 5ページ

- ◆赤い羽根共同募金…………… 6ページ
- ◆心配ごと相談日程…………… 7ページ
- ◆お知らせ 大北ブロック地域活動フォーラムほか…………… 8ページ

特集！

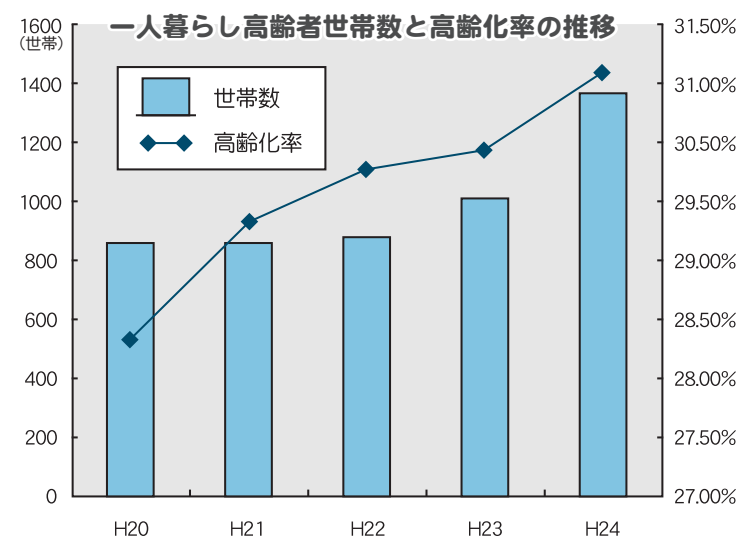
一人暮らし高齢男性の会話不足 「2週間に1回以下」が全体の17%

昨年7月に国立社会保障・人口問題研究所が実施した「生活と支え合いに関する調査」の結果が今年7月に公表された。その中で、「周囲の人と会話する機会」について聞いたアンケートでは、65歳以上の一人暮らしの男性が「2週間に1回以下」と答えた人が全体の17%であり、社会的孤立が心配される。では、大町市の状況はどうでしょうか。

数字でみる大町市 一人暮らし高齢者世帯の推移

※大町市社会福祉事業概要より

- ◆過去5年間で一人暮らし高齢者世帯数が504世帯増加しています。
- ◆高齢化率も、平成20年度は28.48%でしたが、平成24年度は31.04%と、3人に一人が高齢者となってきました。
- ◆また、人口は減少しているが、高齢者数は増加しており、大町市の人口構造が変わってきています。



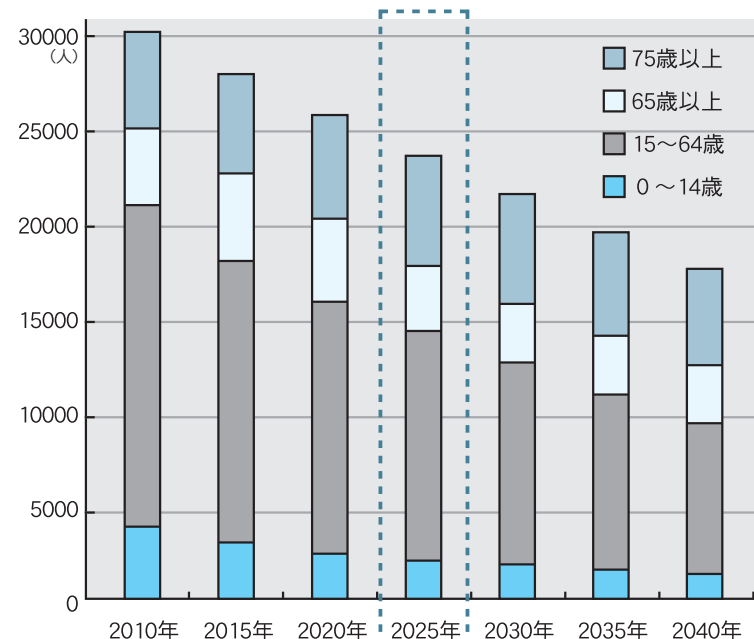
2025年の大町市

国立社会保障人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口(H25.3月)より

人口	23,354人
65歳～74歳	3,492人
75歳以上	5,896人
高齢化率	40.20%

2025年問題とは？

団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる年。社会保障等が増加するといわれています。



高齢化率と平行して一人暮らし高齢者は増加!!

当事者の声 一人暮らしの男性にお聞きしました



いくつになっても勉強が大事
中原町 宮澤 邦雄さん

私が一人暮らしになったのは、病気をした11年前。確かに、年をとると人との付き合いも少なくなるし、出ることがあっくうになる。私は、一人となった当時より、アルミ缶や木材などでオブジェを制作し始め、今ではそれが生きがいで、新しい友達や人間関係をつくれている。いくつになっても勉強が大事。



困っている一人暮らしの方はたくさんいる
清水 廉澤 秀夫さん

一人暮らしは寂しくないといえ、ばうそになる。ただ、寂しいと一人ぼっちと過ごしてはいけない。家事をしっかりやること、趣味などの生きがいをもつことが大事。同じ一人暮らしの男性同士の集りがあればおもしろいと思うが、男というのは集りになかなか参加しない。だから、困っている人がたくさんいると思う。



近所付き合い何よりも大事
青貝 田中 眞司さん

妻を亡くして、長いこと一人暮らしを続けている。
週1回のゲートボールと老人クラブの集り、畑仕事の合間に近所の人とお茶を飲むことが楽しみ。
長く一人暮らしをしているので仲間や近所付き合いを何よりも大事にしている。

誰もが安心して暮らし続けていくためには、
普段から地域での関係づくりがポイント!

地域の関係づくりに小地域福祉ネットワークを…!!

●小地域福祉ネットワークとは？

「住民同士が網の目のように連絡・連携しながら、お互いの生活を支え合っていく活動」です。

昔の地域では、困った時には、家族や親戚、隣近所が助け合い支え合ってきました。現在は、様々な理由でこの機能が弱まっています。昔、隣近所で助け合い、支え合っていた地域社会の仕組みを再構築することが求められており、この仕組みづくりを「小地域福祉ネットワーク活動」といいます。

◇見守り・声かけ運動

栄町では、子どもの登下校見守りを行っています。



◇お互いさま活動(ごみ出しや雪かきなど)



◇住民交流活動(お楽しみ会など)

地域では、様々な交流活動がされています。



◇サービスの橋渡し(公的機関へ)





高齢者は会話不足?地域で感じることは…

●人付き合いが一番大事



旭町
降旗 令さん

私は昔、松川村で1年、その後大町市の学校で勉強をしていた。今でも両方の同級会をやっている。そこで気付いたことは、松川村の男性は活気があり人付き合いが上手。だから、松川村の男性が平均寿命日本一となった一つの要因だと感じる。人付き合いが大事。それがなければ会話も生まれない。まずは隣近所であいさつすることから始めましょう。

●地域を考えるきっかけに…



新郷
宮田 節史郎さん

新郷では、一人暮らしの方は少ない方で、一人暮らしの方も農作業など元気に生活されている。しかし、団塊世代が多い地域で、あと数年後は皆高齢者となり、一人暮らしの方も増えるだろう。昔、地域各所で見られたたわいもない会話。それが地域の絆をつくる一番の方法。最近では、見られなくなりこれも時代なのかと感じる。今、地域で横のつながりをつくる何かをしなければと感じる。

●「助けて」と言える関係づくり



泉
降旗 岩子さん

一人暮らしの方は確かに増えている。単に一人というより、子どもと別宅で生活して一人暮らしという方が多い。

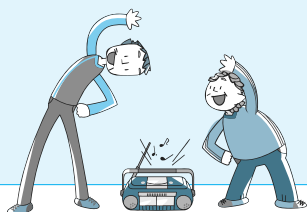
昔は、地域の人皆が同じリズムで生活していたので、考えなくても付き合いができた。今は皆生活のリズムが違うので、工夫をしないと付き合いが薄くなっていく。隣近所でうまく間隔の中で「助けて」と言える関係づくりが大事。でもそれが一番難しい。

●地域の集り 出てこない方が心配



宮本
太田 みつ子さん

宮本は、市内でも高齢化率の高い地域と聞いている。その中で、ネットワークで会員の隣近所を見守るようにしている。また、有志で毎週(土)に体操教室をやっている。男性を特に誘い、最近では数名出てきてくれるが、男性はなかなか出てきてくれない。地区の集りに来ない一人暮らしの方などが心配。



●定期的に集れる機会を



下笹尾
深沢 勝敬さん

八坂地区を頭で考えると、一人暮らしだらけ。全体の3割くらいが一人暮らしではないか。昔は、近所で井戸端会議をするお年寄りを多く見たが、最近ではあまり見なくなった。

お互い忙しい時代だが、せめて集落などの単位で定期的に皆が集れる機会をつくる必要がある。これは、行政などに任せるのではなく、地域で考えていかなければならない。

●気兼ねなく集れる工夫を



青具
江津 吉雄さん

男性は一般的に出不精だし、コミュニケーションをとるのも難しいと思う。

青具は集落が点在していて、一個所に集るのも地理的に大変。だから、小さい範囲で顔の見える仲間同士が、料理教室や野菜作り、100年誌を見ながら昔話に花を咲かせるのもいいと思う。やっぱり身近な自治会の人などが声をかけると気兼ねなく参加できるし。工夫次第で男性の楽しめる集まりになると思う。

今年の市民ふれあい広場は 復興支援イベント

10月5日(土)
開催!



今年も「市民ふれあい広場」では、東北復興支援イベントとして開催します。
復興支援イベントの内容を紹介します。

焼きたてさんま1,000匹無料配布!!

今が旬! 岩手県大船渡

さんままつり
in大町

大船渡港から直送された新鮮なさんまを大船渡からやってきたスタッフの皆さんの熟練した“炭焼きの技”で香ばしく焼き上げ大根おろしを添えて、召し上がれ。



おいしそう...

岩手県大船渡特産物販売!!

岩手県大船渡より、たくさんの特産物を仕入れました。

災害復興! みなさん、是非お買い求めください。



▲蒲焼さんま(冷凍)
350円



▲帆立のかぜみそ(冷蔵)
450円



▲長期保存可能!
秋刀魚炙り出しラーメン
500円



▲東北銘菓「かもめのたまご」
600円

皆さん知ってますか?

おらほのラジオ体操

市民ふれあい広場オープニングで、来場者皆様のご参加をいただき、思わず笑顔になるラジオ体操をしましょう。

おらほのラジオ体操

東北の方言を取り入れた『ラジオ体操』

動画サイト『YouTube』で再生回数が30万回を越え、CDも販売されています。売上の一部は支援金として活用されています。



赤い羽根共同募金運動が始まります！

募金活動期間
10月1日
～
12月31日

この運動は、毎年大勢の皆さんにご協力いただいております。昨年は、9,756,439円の募金をいただきました。

今年は、募金目標額を9,707,000円としてご協力をお願いすることとなりました。



何で「募金目標額」を決めるの？

共同募金は、地域の民間福祉ニーズを受け付けてから募金を行う、計画募金です。

募金が集ってから使いみちを決める募金ではありません。

募金をどのように活用するか計画をつくり、その計画に基づいて目標額が設定されます。



税金を払っているのに、なぜ共同募金をする必要があるの？

税金は、行政が公平に効率的に不公平にならないよう実施される事業に活用されています。

ところが、福祉の現場では、日々その対象が変わり、できるだけ早く実情に即した活動が必要になります。

そうした活動に対応できるのが、「民間」です。

共同募金はそういった「民間」福祉活動の財源です。



大町市では、こんな活用がされています

(写真は昨年以前ものです)

地域実績活動促進事業補助金

大町地区では、単位子ども会、老人クラブが行う三世交代交流事業への補助金として活用しています。写真はしめ縄づくり交流。



小地域福祉ネットワーク活動

市内42地区で活動されている小地域福祉ネットワーク。

写真は相生町『未来の会』サロン風景



常盤地区一人暮らし高齢者おせち料理配布事業

常盤地区では、ボランティア団体「ゆずり葉の会」協力により一人暮らし高齢者宅へおせち料理を配布。



事前予約にご協力ください。 ☎ 22 - 1501 (大町市)

大北地域心配ごと相談日程 10月・11月

10月	開催日	時 間	相談内容	担当者	場所	開催者・連絡先
	10月7日(月)	13:00~16:00 13:00~15:00	心配ごと相談 司法書士相談	心配ごと相談員 司法書士	大町市 総合福祉センター	大町市社協 ☎22 - 1501
	10月21日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員		
	10月28日(月)	13:00~16:00 13:00~15:00	行政相談 心配ごと相談 司法書士相談	行政相談員 心配ごと相談員 司法書士		
	10月8日(火) 10月22日(火)	13:30~15:30	なんでも相談	心配ごと相談員	やすらぎの郷	池田町社協 ☎62 - 9544
	10月2日(水)	13:00~15:00	生活相談 行政相談員	民生委員 行政相談	ゆうあい館	松川村社協 ☎62 - 9000
	10月16日(水)	13:00~15:00	心配ごと相談	人権擁護委員 司法書士 民生児童委員	白馬村保健福祉 ふれあいセンター	白馬村社協 ☎72 - 5000
11月	11月11日(月)	13:00~16:00 13:00~15:00	心配ごと相談 司法書士相談	心配ごと相談員 司法書士	大町市 総合福祉センター	大町市社協 ☎22 - 1501
	11月18日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員		
	11月25日(月)	13:00~16:00 13:00~16:00	心配ごと相談 司法書士相談	心配ごと相談員 司法書士		
	11月12日(火) 11月26日(火)	13:30~15:30	なんでも相談	心配ごと相談員	やすらぎの郷	池田町社協 ☎62 - 9544
	11月6日(水)	13:00~15:00	生活相談 子育て相談	民生委員 児童委員	ゆうあい館	松川村社協 ☎62 - 9000

◎お気軽にご相談ください。
このほか、【常設相談】土日
祝日を除き毎日受け付けて
います。 ☎22 - 1501

★電話相談 どんな悩みごともお気軽にどうぞ。

★日常生活自立支援 障がい者・高齢者の方で、ご自分で判断することが難しく、
日常生活や財産管理についてお困りの方。

★ボランティアセンター(社協内) ボランティアについての相談。

ふれあいの窓 善意の寄附をありがとうございます H25. 7. 15~H25. 9. 15(敬称略)

【現金】大町市元市議会議員の会……………25,000円 【使用済切手等】東中原町 なずなの会
降幡 芳夫……………50,000円 市川 尊典 匿名多数

福祉の制度紹介

交通・災害遺児見舞金及び就職激励金支給制度

県内にお住まいの方で、交通事故や災害事故により父又は母が死亡や重度の障害となった場合、
その遺児やお子様に対して、支給される制度です。

支給対象者	支給額	支給対象者	支給額
満18歳に達した日以後の 最初の3月31日までに遺 児等となったお子様	遺児等一人に対し 50,000円	中学校、高校及び専修学 校高等課のいずれかを卒 業または中退し就職した 遺児等	遺児等一人に対し 70,000円

**参加者
募集!!**

ー大北ブロックボランティア地域活動フォーラムー つなげよう!ボランティアの輪

大北地域の中で活動しているボランティアが一堂に会し、大北地域のボランティア7団体が出展する活動見本市を開催。実演や紹介をしながら参加者が体験できる内容です。皆さん振るってご参加ください。

- ◆日 時 10月18日(金) 午後1時～4時
- ◆場 所 白馬村多目的研修集会施設
(白馬村役場隣)
- ◆参加費 無料
- ◆申 込 10月3日(木)までに
大町市社会福祉協議会へ
TEL22-1501

- ◆【活動見本市】出展団体内容
 - ・絵本読み聞かせ
 - ・手作り紙芝居
 - ・きび団子振る舞い
 - ・体操指導
 - ・生後2ヶ月乳児へのプレゼントと展示
 - ・ボッチャゲーム
 - ・不整地車いす試乗体験
- ◆【講演】講師 鎌田 敏 氏
こころ元気研究所所長

**事業
紹介**

大町市を愛する女性の会 一定期上映会ー ドキュメント映画「天に栄える村」

毎年、福祉の普及啓発を目的に、映画上映会をしている「大町市を愛する女性の会」。今年は、環境と食の問題について映像を通して考えていただくことを目的にのドキュメント映画「天に栄える村」を上映します。

- ◆日 時 10月12日(土) 13:30～
- ◆場 所 大町公民館分室
- ◆参加費 無料

福島第一原発から70km離れた「福島県天栄村」。人口6000人ほどの村はこの日変わった。未曾有の環境破壊を乗り越えようとする農業の人々の苦悩を追ったドキュメント映画。



監督：原村 政樹 語り：余 貴美子

**塾生
募集**

はじまるよ!「元気塾みあさ」

地域の方にセンターを知っていただき、住民交流の場をつくることを目的に塾生が元気になれる塾がはじまります。

- ◆日 程 全3回予定
《第1回》 10月22日(火)
午後1時30分～2時30分
※2、3回目は随時連絡します。
- ◆内 容 第1回 ハンドタオルでポーチ作り
第2回 マスコットグリップ作り
第3回 グラデーションキャンドル作り
- ◆場 所 美麻総合福祉センター 梨嶺
- ◆申 込 10月11日(金)までに
大町市美麻総合福祉センター TEL29-2341

**愛称
募集**

輸送サービス車に 名前をつけてください

公共交通機関が利用できない方の支援として、福祉輸送サービスを行っています。

1台が増車となりました。この車両に愛称をつけてください。



昭和電工大町事業所
昭和電工ユニオン
より寄贈

- ◆応募方法
 - ・応募用紙か官製はがきで応募ください。
 - ・はがきに「愛称」「住所」「氏名」「電話番号」を明記してください。
 - ・採用作品には景品を贈呈。
- ◆応募締切 10月31日(木)消印有効
- ◆問い合わせ 市社協 TEL22-1501
※応募用紙は社協事務局にあります。

「社協 おおまち」へのご意見、ご希望、投稿などみなさんの声をお寄せください。

〒398-0002 大町市大町1129 大町市総合福祉センター内

編集・発行；社会福祉法人 大町市社会福祉協議会 地域福祉係 TEL22-1501 FAX22-7071

URL <http://www.omachishakyo.org/> E-mail soumu@omachishakyo.or.jp